

# 直見数定員 へ議論など 議員定数

## 議会改革特別委員会設置

### 市政初の無投票受け

### 砂川市議会 定例会に議員提案

【砂川】砂川市議会の議会運営委員会(小黒弘委員長)が15日に市役所で開かれ、22日から開かれる市議会定例会で「議会改革特別委員会設置」について、議員提案することを決めた。先に行われた市議会議員選挙で無投票となったことを受け、議員定数の扱いについて考え方の整理や、開かれた市議会に向けて市民にわかりやすく伝えるための方策や在り方などを議論していく考えだ。

改選後に就任した飯澤明彦市議会議長から「議会改革の検討について」と題して、議会運営委員会に諮問されていたもので、今月3日から市民クラブ、公正会、創生会、市民の声の4会派の代表が議

会運営委員会で話し合いを進めていた。飯澤議長からは「今回の市議会議員選挙では砂川市始まって以来の無投票で14人が当選した。また、市民の中から議会の動きが見えな

いなどの声も聞かれて、ある」として、砂川市議会でも早期に改革や見直しが必要である」とした上で①議員定数について②市民に見え

る。これを受け、議会運営委員会では2回にわたる会派の代表者が集まり検討。その結果、これらの項目を議論する場として「議会改革特別委員会」を新たに設けることを今回の議会に提案することを決めた。議会運営委員会では議会最終日の29日に提案を行う。

議会改革特別委員会の委員は5人で構成。議会で決議後、議長が委員を指名選任する。

砂川市議会は市政施行後の昭和34年選挙は定数30人でスタート。46年に28人、60年26人、平成3年24人、6年22人、11年20人、15年18人、16年14人と改正をしている。